



地域に密着した消防団活動の推進

地域防災室

○ 消防団の活動

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、火災や大規模な自然災害での活動のみならず、平常時における活動においても、地域に密着した様々な取組を行っており、地域の安心・安全を確保するために積極的に活動しています。

○ 住民コミュニティと深める共助意識

愛知県日進市消防団は、地域の自治会や自主防災組織等が主催する地域防災訓練に積極的に参加し、水消火器を使用した消火訓練や煙体験ハウス、土のう作り等の指導を積極的に受け持ち、住民に対する防火意識の高揚と浸透を図っています。また、ポンプ操法の実演や活動内容の紹介をすることで、身近な消防団をPRし、子育て世代が多く住むという地域特性を踏まえた若者の消防団への参加を促し、防災をキーワードとしたコミュニティ意識の浸透に積極的に取り組んでいます。



アンケート調査を兼ねた啓発活動を実施（日進市消防団）



水消火器を用いて消火訓練を指導（日進市消防団）

○ 自主防災組織との連携

京都府城陽市消防団では、消防団が自主防災組織や住民に対してリーダーシップをとることが必要であるとの

考えのもと、平成8年より校区防災訓練において、消防団と自主防災組織との緊密な連携強化に取り組んでいます。さらには、地域で開催されている催事や運動会等の各種行事にも積極的に参加し、消防団活動をアピールするとともに、団員確保のためのチラシの配布等勧誘活動を実施するなど、消防団長以下団員相互が強固に結束し、地域とともに「安心・安全な城陽の実現」に向けた消防団活動を展開しています。



女性消防団員による防火啓発活動（城陽市消防団）

このように、各地域の消防団は、地域ぐるみで参加できる様々な活動を積極的に実施しており、一人でも多くの住民に防火・防災について考えてもらう機会を設けています。こうして、「自らの地域は自らで守る」という自助・共助意識を再確認してもらい、今後発生が危惧されている大規模災害などへの備えを行っています。

全国の消防団員は、平成28年4月1日現在856,278人となっており、1年前と比較して3,717人減少しています。各地の懸命な取組により、減少幅は年々縮小しているものの、地域における防災力の低下が懸念されています。今回、御紹介した地域に密着した消防団活動を継続して行う事で、防火・防災に対し、また、消防団に対して理解が広まり、一人でも多く、消防団員が増加することが期待されます。

今後も、各地で実施する消防団の活動について、御理解と御協力をお願いいたします。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部 地域防災室
消防団係 山下、今西
TEL: 03-5253-7561